

## リーディングカンパニー訪問記事（京都労働局 HP）

### 「働き方改革推進のため企業訪問を実施しています！」 株式会社イシダ（本社）



（向かって左が専務取締役 上野誠一氏、右が京都労働局長 高井吉昭）

平成 29 年 7 月 18 日、京都労働局長 高井吉昭は、「働き方改革推進」に向け企業訪問を実施。訪問では、「京都の現状」と「政府の取組み状況」の説明、働き方改革及び女性活躍推進のため、①長時間労働の抑制に向けた取組、②女性の活躍推進の取組、③非正規雇用労働者の待遇改善の取組の推進について、要請を行いました。

#### 【会社概要】

明治 26 年に創業し、計量・包装・検査・箱詰・各種システムを世界 100 か国以上に販売展開されています。近年は、特に人手不足の解消に貢献するため、多種多様な商品ラインナップを提供し、国内シェア 80%（世界シェア 70%）の製品を誇る業界のリーディングカンパニーです。

#### 【働き方改革の取組状況】

平成 29 年度より、働き方改革 3 ヶ年計画をスタート。

生産性の向上と働き方改革に向けて、しっかりした仕組み作りを行うため、企業として最重要テーマ（社長方針）と位置付け、専務取締役 上野誠一氏をプロジェクトオーナーに「働き方改革プロジェクト」を編成しているとのこと。

#### 【3 ヶ年計画の柱】

- ① 生産性向上への取組
- ② E S 向上による働き甲斐向上
- ③ ゼロベースで仕事の棚卸
- ④ 人事制度、社内規定の再構築
- ⑤ A I による人材育成体制



#### 【取組事例】

- ① 働き方改革プロジェクトにおける振休消化、有給休暇取得、長時間労働抑制への取組事例）～朝礼での「早く帰る宣言！」を励行～置き時計作戦（裏面に参考資料）
- ② 全会議見直しによる会議の削減と時間厳守や 5W2H、ペーパーレスへの取組
- ③ 女性社員が主体となり、業務効率アップやスキルアップ・社会貢献などを目指した活動である「ビジョナリープロジェクト」を展開による女性活躍推進の取組
- ④ 生産性向上システムへの ICT インフラ投資、工場内のロボット化、多能工化推進
- ⑤ 優秀な人材確保のため定期雇用強化、有期契約社員の無期転換化、待遇改善の取組

【資料】働き方改革プロジェクトにおける長時間労働の削減作戦  
～朝礼での「早く帰る宣言！」を励行～置き時計作戦

ISHIDA

i. 働き方Rプロジェクト

# 早く帰る宣言!!

～ムダを排除し定時退社を心掛けましょう～



朝一番に仕事の段取りを決めたら、  
帰る時間を設定しよう！

設定するのは目標時間です。目標に向かって取り組むことによって、生産性の向上と時短を実現させましょう。

- ① 時計の針を自分が帰る時間に設定し、皆さんに見えるように置きましょう。
- ② 朝礼時には時計を手を持って、各々帰る時間を宣言しましょう。
- ③ 席を離れる際は行き先をポストイットに書いて時計のセンターに貼りましょう。



※電池は入れずに使用下さい！ 脚が壊れやすいので落下には注意しましょう！